

平成23年行政事業レビューシート (農林水産省)

事業名	農林水産政策研究調査委託費	担当部局庁	大臣官房	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成26年度	担当課室	農林水産政策研究所	政策研究調整官 中山 雅章			
会計区分	一般会計	施策名	⑩ 農林水産分野の研究開発				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	専門性等の観点から、農林水産政策研究所の外部の研究者の幅広い知見を活用することが適切と考えられる政策研究課題について、大学等への委託により科学的・客観的な研究を実施し、農林水産政策の企画・立案に資する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①長期的視点から農林水産政策の企画立案・推進に必要な研究のうち、専門性等の観点から、農林水産政策研究所自らが実施するよりも、外部の研究者の幅広い知見を活用することが適切と考えられるものについて、研究課題の公募方式により大学、シンクタンク等の研究機関に委託する(研究期間は原則3年以内)。 ②応募課題は、外部専門家等からなる審査会により採否を決定する。また、研究の実施中は、農林水産政策研究所の所員がプログラムオフィサー(PO)として進行管理を行うほか、必要に応じ助言・指導等を行う。研究開始2年度目以内に中間評価を、研究終了後には事後評価を、外部専門家等により実施する。 ③研究の成果については、行政部局の政策の企画立案に資するよう、農林水産政策研究所が独自の研究や既存の研究成果等と合わせて提供する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算		100	121	109	91
		補正予算		0	0	0	
		繰越し等		0	0	0	
		計		100	121	109	
		執行額		98	118		
	執行率(%)		98%	98%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	(中間的目標)研究の中間段階で実施する中間評価の総合評価がA及びBランクである課題数の割合 75% (最終的目標)中間評価での指摘を踏まえ研究計画を修正等し、研究終了時の事後評価における総合評価がA及びBランクである課題数の割合 100%	成果実績	%		評価はH22年度以降に実施	・中間評価結果(H21採択課題) 75%	・中間評価結果(H22採択) 75% ・事後評価結果(H21採択) 100%
		達成度	%		—	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実施課題数	活動実績 (当初見込み)	件		8	12 (12)	— (12)
単位当たりコスト	H22年度 9,860,552(円/課題)	算出根拠	単位当たりコスト=118,326,630円(執行額)÷12(実施課題数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	人件費	52	43	予算監視・効率化チームの所見等を踏まえ、所要額を精査し、事業費を縮減したため			
	職員旅費	8	7				
	試験研究費	10	8				
	外国研究者招へい旅費	6	5				
	招へい外国人滞在費	2	1				
	通信運搬費	3	3				
	賃金	4	3				
	間接経費	25	21				
計	109	91					

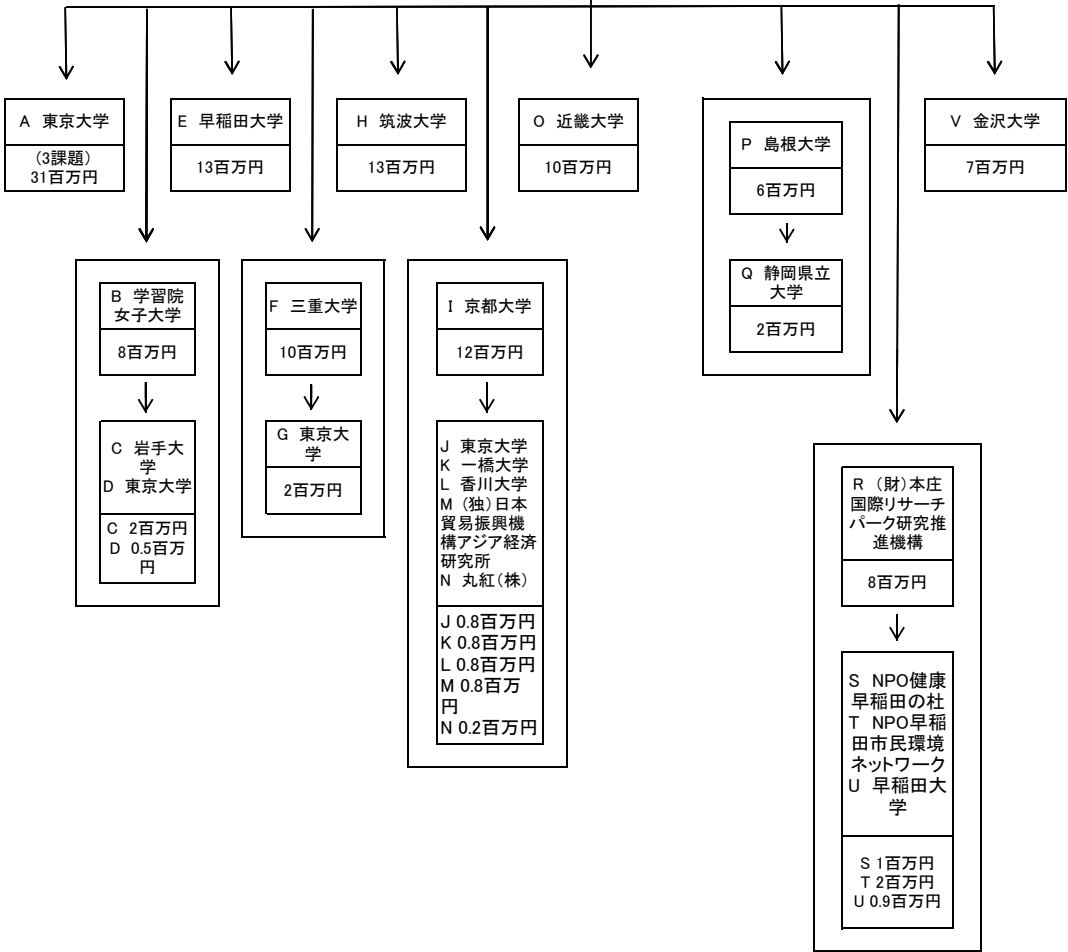
事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>①支出先は、公募を行い、外部専門家等からなる審査会において選定している。なお、平成22年度の公募時には、きめ細やかなPR活動を実施した結果、前年よりも競争率が高まり(H21:2倍→H22:5倍)、競争性が向上している。</p> <p>②費目、用途及び支出額(コスト)については、外部専門家等からなる審査会において、研究内容、予算計画、再委託先等も審査対象とすることによりコスト削減等を図り、特に昨年度の行政事業レビュー時に指摘のあった「海外旅費の削減」に留意し、平成23年度事業においては、海外旅費を21年度に比べ半減させている。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>①研究課題の事後評価において、全課題がA又はB評価となるもの目標を掲げ、政策研所員のプログラムオフィサー(PO)を主査とし、農林水産省関係部局の担当者からなる研究推進チームにより助言、指導を徹底することに加え、中間評価において、政策的観点及び科学的観点の両面から評価を行い、評価の結果をもとに研究計画の修正を求めるとともに、次年度の委託額に反映させている。</p> <p>②成果の活用については、中間的な研究成果についても、関係行政部局に随時提供しており、また、関連学会での発表、学術誌・新聞への投稿等(21年度採択課題 平均10件/課題)を積極的に行っている。</p>
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>①事業初年度(21年度)に採択した課題については今年度末に研究成果がまとめられることから、国民ニーズを踏まえた行政部局の要請に的確に対応する成果となるよう、研究推進チームによる助言、指導を徹底する。</p> <p>②農林水産政策研究所が中心となったセミナーの開催や学会等の場を活用し、専門家との意見交換を経た学術的にも評価の高い研究成果を得る。</p> <p>③より多くの主体から、多数の課題応募が行われ、より質の高い課題の採択が可能となるよう、公募時に限らず、多様な媒体や関係学会等の場を活用した事業や成果のPR活動を行い、本事業の認知度を高めることに一層努める。</p> <p>④引き続き、海外旅費等のコスト削減を徹底する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業は、調査旅費等については、コストの更なる削減が可能と考えられることから、「コストの削減」を行うべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>①上記所見を踏まえ、所要額を精査し、事業費を削減する。</p> <p>②事業費執行に当たっては、調査旅費が必要最小限となるよう調査行程、調査方法等の見直しを求め、さらなるコスト削減を行う。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

農林水産省
118百万円

【企画競争・公募】

大学(9機関)・財団(1機関)
118百万円

{ 農林水産政策科学研究を行う }



資金の流れ
(資金の受け取り先
が何を行っているか
について捕捉する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.東京大学			F.三重大学		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
試験研究費	非常勤職員賃金(事務補助)ほか	12	人件費	非常勤職員賃金	3
人件費	非常勤職員賃金(研究)	7	試験研究調査委託費	研究推進に係る業務の一部を他の機関(東京大学)に委託するための経費	2
研究員等旅費	調査旅費ほか	5	間接経費	光熱水費、複写機利用料	2
間接経費	光熱水費ほか	7	研究員等旅費	調査旅費ほか	2
その他	消費税相当額	1	試験研究費	トナーカートリッジほか	1
			その他	諸謝金ほか	0.4
計		31	計		10
B.学習院女子大学			G.東京大学		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
試験研究費	翻訳料ほか	2	研究員等旅費	調査旅費ほか	0.9
試験研究調査委託費	研究推進に係る業務の一部を他の機関(岩手大学、東京大学)に委託する	2	試験研究費	翻訳料ほか	0.9
研究員等旅費	調査旅費ほか	1	間接経費	光熱水費ほか	0.5
間接経費	事務用品ほか	1			
その他	諸謝金ほか	1			
計		8	計		2
C.岩手大学			H.筑波大学		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
試験研究費	人材派遣料ほか	1	試験研究費	インテージ消費者パネルデータの購入ほか	5
研究員等旅費	調査旅費ほか	0.5	研究員等旅費	調査旅費ほか	3
間接経費	光熱水費ほか	0.4	間接経費	光熱水費ほか	3
			人件費	研究員賃金ほか	2
			その他	謝金、消費税相当額	0.3
計		2	計		13
E.早稲田大学			I.京都大学		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
研究員等旅費	調査旅費ほか	5	試験研究費	アンケート調査請負料((株)日経リサーチ)、非常勤職員賃金ほか	6
試験研究費	翻訳料、速記反訳料ほか	3	試験研究調査委託費	研究推進に係る業務の一部を他の機関(東京大学、一橋大学、香川大学、日本貿易振興機構、丸紅(株))に委託するための経費	4
間接経費	光熱水費ほか	3	間接経費	光熱水費ほか	2
その他	会議開催経費(旅費、謝金ほか)	2	研究員等旅費	調査旅費ほか	1
計		13	計		12

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

O.近畿大学			S.NPO法人 健康早稲田の社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員賃金	6	人件費	研究員賃金	1
間接経費	事務用品ほか	2	間接経費	事務用品ほか	0.3
試験研究費	賃金ほか	1			
その他	調査旅費ほか	1			
計		10	計		1
P.島根大学			T.NPO法人早稲田市民環境ネットワーク		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
試験研究費	賃金ほか	2	人件費	研究員賃金	1
試験研究調査委託費	研究推進に係る業務の一部を他の機関(静岡県立大学)に委託するための	2	間接経費	事務用品ほか	0.4
間接経費	事務用品ほか	1	その他	国内旅費、賃金	0.2
計		6	計		2
Q.静岡県立大学			V.金沢大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
試験研究費	賃金ほか	2	試験研究費	書籍、DVD作成料ほか	3
その他	国内旅費、委員旅費、消費税相当額	0.3	研究員等旅費	国内旅費、委員旅費	2
間接経費	施設の維持管理費	0.2	間接経費	賃金ほか	2
			その他	謝金	1
計		2	計		7
R.(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
試験研究調査委託費	研究推進に係る業務の一部を他の機関(NPO健康早稲田の社、NPO早稲田市民環境ネットワーク、早稲田大学)に委託するための経費	4			
試験研究費	人材派遣料ほか	3			
その他	人件費、研究員旅費	0.4			
間接経費	複写機トナー代ほか	0.4			
計		8	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
A	東京大学	①我が国水産業へのITQの適用可能性に関する法学的・経済学的分析研究、②安定的な食料輸入を確保するための諸方策に関する経済学的研究及び③新たな食の信頼向上活動の効率性及び政策支援の有効性に関する研究の実施	31	①15(企画) ②15(企画) ③20(企画)	100%

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
B	学習院女子大学	農業分野における資源・環境保全のための総合的政策の構築にかかわる研究の実施	8	15(企画)	100%
C	岩手大学		2	随意契約	—
D	東京大学		0.5	随意契約	—

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
E	早稲田大学	農水産分野の権利取引がもたらす経済厚生及び必要要件に関する理論的・実証的研究の実施	13	15(企画)	100%

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
F	三重大学	アグリビジネスの新たな企業戦略と我が国の戦略的対応に関する研究の実施	10	15(企画)	100%
G	東京大学		2	随意契約	—

H

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
H	筑波大学	食品関連市場におけるグローバルな民間主体・企業行動の実態を踏まえたフード・セキュリティに関する政策分析研究の実施	13	15(企画)	100%

I

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
I	京都大学	食料農業企業による開発輸入と産業内貿易活動が我が国農業に及ぼす影響に関する実証分析研究の実施	12	15(企画)	100%
J	東京大学		0.8	随意契約	—
K	一橋大学		0.8	随意契約	—
L	香川大学		0.8	随意契約	—
M	(独)日本貿易振興機構アジア経済研究所		0.8	随意契約	—
N	丸紅(株)		0.2	随意契約	—

O

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
O	近畿大学	水産物市場におけるグローバル企業の行動様式による経済影響構造の特定化研究の実施	10	15(企画)	100%

P

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
P	島根大学	地域特性を踏まえた自助・共助・公助の総合的評価および共助を支援する政策・施策の展開方法に関する研究の実施	6	20(企画)	100%
Q	静岡県立大学		2	随意契約	—

R

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
R	(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構	農(業)・商(業)・高(齢者)連携による地域再生シナリオに関わる実践的政策研究の実施	8	20(企画)	100%
S	NPO健康早稲田の社		1	随意契約	—
T	NPO早稲田市民環境ネットワーク		2	随意契約	—
U	早稲田大学		0.9	随意契約	—

V

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
V	金沢大学	農山漁村における都市内企業労働者のメンタルヘルス・プログラムの構築と評価手法の実証的な研究の実施	7	20(企画)	100%